

議会だより

あ い か わ

第 125 号

責任者 議会議長 森川絹枝
年4回発行・本号18ページ



健やかな成長を願って

平成22年度予算を可決
一般会計は、118億5,500万円（前年比5.2%減） P 2

意見書 2 件を全会一致で可決、関係行政庁へ送付 P 4

会派代表質問 P 13

平成22年 5月15日

< 3月第 1 回定例会 >

○発行/愛川町議会 編集/議会だより編集委員会 〒243-0392 神奈川県愛甲郡愛川町角田251-1 046-285-6927(直通) 046-285-2111(代表)

平成22年第1回愛川町議会「3月定例会」は、3月1日から3月26日までの会期26日間（本会議開催日5日間）にわたり開かれました。

この定例会では、条例の制定や一部改正をはじめ、新年度予算や補正予算、また事件議案では、指定管理者の指定、町道路線の廃止・認定など、合計で25件の町長提出議案を審議し可決しました。

また、議員提出議案として、意見書2件を可決しました。

本号では、これら「3月定例会」の内容をお知らせいたします。

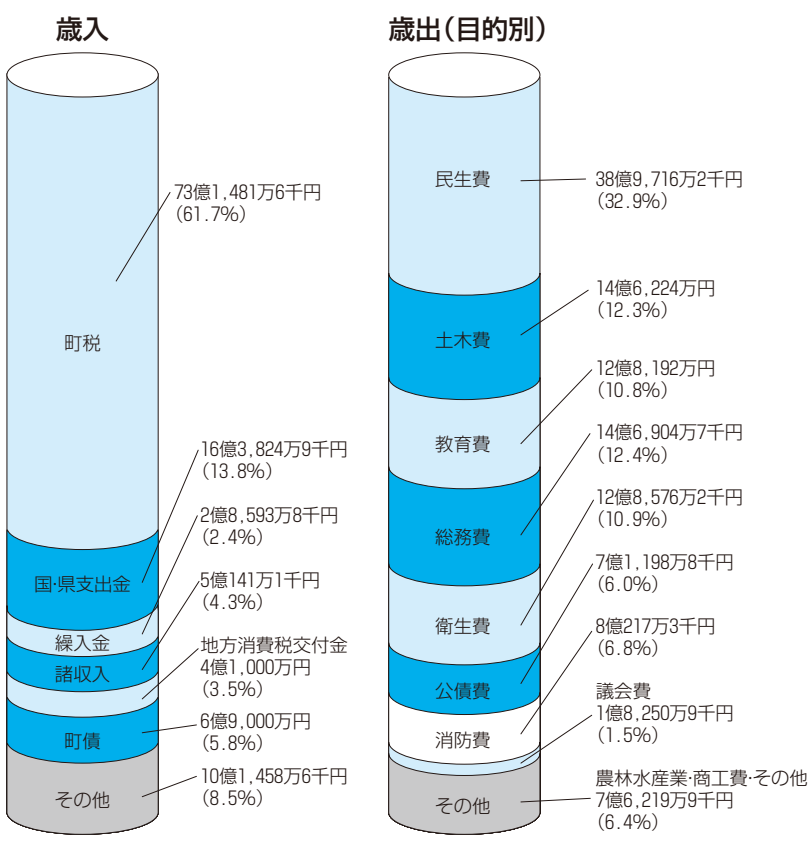
総額210億3千450万円
平成22年度当初予算可決

- 一般会計予算
(賛成15人・反対2人)
 - 国民健康保険特別会計
予算
(賛成15人・反対2人)
 - 後期高齢者医療特別会計
予算
(賛成15人・反対2人)
 - 老人保健特別会計予算
(賛成15人・反対2人)
 - 介護保険特別会計予算
 - 下水道事業特別会計予算
 - 水道事業会計予算
(以上、賛成全員)
- ※議長は表決に含みません。

各会計予算額

会 計 名		予算額	構成比	前年度比
一 般 会 計		118億5,500万円	56.4%	△5.2%
特別会計	国民健康保険	52億2,100万円	24.8%	△2.3%
	後期高齢者医療	2億6,300万円	1.2%	△4.4%
	老人保健	300万円	0.0%	△40.0%
	介護保険	16億7,850万円	8.0%	3.2%
	下水道事業	12億9,900万円	6.2%	△18.8%
	小 計	84億6,450万円	40.2%	△4.3%
企業会計	水道事業	7億1,500万円	3.4%	△15.1%
合 計		210億3,450万円	100.0%	△5.2%

一般会計予算の構成



平成22年第1回定例会日程

月	日	曜	会 議 名	主な内容
1	月	本	会 議	町長施政方針演説 提出議案の説明
2	火	本	会 議	一般質問 (6人)
3	水	本	会 議	一般質問 (6人)
10	水	本	会 議	補正予算・事件関係議案の総括質疑から採決 施政方針・条例・新年度予算に対する会派代表質問、委員会分割付託の決定
11	木	3	総務建設常任委員会 教育民生常任委員会	付託案件の審査
12	金		総務建設常任委員会	付託案件の審査
15	月		教育民生常任委員会	付託案件の審査
16	火		総務建設常任委員会	付託案件の審査
17	水		教育民生常任委員会	付託案件の審査
18	木		総務建設常任委員会	付託案件の審査
25	木	本	会 議	付託案件の審査結果の 委員長報告・質疑・討論・採決 議員提出議案の質疑・討論・採決 追加議案の質疑・討論・採決

新設条例

◎愛川町奨学金条例の廃止

(賛成13人・反対4人)

ポイントⅡ「公立高等学校に係る授業料の不徴収及び高等学校等就学支援金の支給に関する法律」により、平成22年度から公立高等学校について授業料の不徴収及び公立高等学校以外の高等学校等の生徒等がその授業料に充てるために高等学校等就学支援金の支給が実施されることから本条例を廃止する条例を制定したものです。

施行期日は平成22年4月1日

主な改正条例

◎愛川町長等常勤の特別職の給与に関する条例及び愛川町教育委員会教育長の給与その他の勤務条件に関する条例の一部改正

(賛成全員)

ポイントⅡ近年の景気低迷による民間企業の経営状況は未だ明るい兆しが見えず、非常に厳しい状況が続いていることから、町長自らの判断により、町長については給料月額額の100分の7、副町長については100分の5、教育長については100分の3、それぞれ減額することとし、減額の期間は平成22年4月1日から平成23年3月31日までの1年間としたものです。

施行期日は平成22年4月1日

◎愛川町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正

(賛成全員)

ポイントⅡ事業活動に伴って生じる一般廃棄物の処理手数料について、近年のごみ排出量の増加、ごみ処理経費との整

合及び近隣市町との均衡を勘案し、1kgにつき「20円」を「23円」に改正したものです。

施行期日は平成22年7月1日

◎愛川町放課後児童クラブ育成料徴収条例の一部改正

(賛成全員)

ポイントⅡ土曜日、長期休業日等に早朝預かりを実施するため、早朝育成料として午前8時から午前8時30分までの間の利用について、1回100円と定めたものです。

施行期日は平成22年4月1日

補正予算

◎平成21年度一般会計補正予算(第5号)

(賛成全員)

ポイントⅡ今回の補正は歳入歳出それぞれ7千424万7千円を減額し、歳入歳出予算の総額を127億6千276万9千円としたものです。

◎平成21年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

◎平成21年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

◎平成21年度老人保健特別会計補正予算(第1号)

◎平成21年度介護保険特別会計補正予算(第2号)

◎平成21年度下水道事業特別会計補正予算(第2号)

◎平成21年度水道事業会計補正予算(第1号)

(以上、賛成全員)

事件議案

◎指定管理者の指定

「小沢児童館」

(賛成全員)

指定管理者

名称 小沢区

指定の期間

平成22年3月28日から平成23年3月31日まで

◎町道路線の廃止・認定

(賛成全員)

道路法の規定により、一般交通の用に供さなくなった路線や、新たに町道として管理する路線、起終点が変更となる路線について廃止・認定を行うもので、今回は5路線の廃止、4路線の認定を行ったものです。

◎損害賠償額の決定(業務遂行上の過失に係る損害賠償)

(賛成全員)

消防団第1分団第4部器具舎のホース乾燥塔に干してあった消防ホースが強風にあおられ、固定していたホース振り止めパイプから外れ、隣接地に停車中の車両に接触し、バックドアガラスに損害を与えたものです。

損害賠償額

8万873円

専決処分報告

◎専決処分の報告(業務遂行上の過失に係る損害賠償)

(賛成全員)

消防団第1分団第4部器具舎のホース乾燥塔に干してあった消防ホースが強風にあおられ、固定していたホース振り止めパイプから外れ、隣接地に停車中の車両に接触し、バックドアガラスに損害を与えたものです。

損害賠償額

8万873円

請願・陳情のゆくえ

今回の定例会で結論の出た請願・陳情は次のとおりです。

結論の出た請願・陳情

(敬称略)

件 名	結 論	陳 情 者
請願第1号 所得税法第56条廃止の 意見書を国に提出するこ とを求める請願	不採択 (賛成6人・反対11人)	厚木市元町8-22 厚木民主商工会婦人部 部長 中山 光子
陳情第13号 (平成21年分) 重度障害者医療費助成 制度の充実を求める陳情 書	採 択 (賛成全員)	川崎市多摩区登戸1408イト ウハイツ107上野方 これからの障害と患者の福 祉・医療を考える連絡会 代表者 石井 紀男
陳情第14号 (平成21年分) 平成22年度における重 度障害者医療費助成制度 継続の陳情	趣旨了承 (賛成13人・反対4人)	横浜市神奈川区台町1-8 ウェイサイドビル504号 特定非営利活動法人 神奈川県腎友会 会長 岸上 武志
陳情第15号 (平成21年分) 新型インフルエンザ対 策ならびに助成等の支援 に関する陳情	趣旨了承 (賛成全員)	横浜市神奈川区台町1-8 ウェイサイドビル504号 特定非営利活動法人 神奈川県腎友会 会長 岸上 武志
陳情第1号 「JR不採用問題の早期 解決に向けた意見書を国 に提出することを求め る」ことについての陳情	机上配付	神奈川県横浜市鶴見区豊岡 町1番27号 国鉄労働組合神奈川地区本 部 執行委員長 姉崎 憲敏
陳情第2号 改正貸金業法の完全施 行等に関する意見書の提 出を求める陳情	採 択 (賛成全員)	神奈川県横浜市中区吉浜町 1番地 神奈川県司法書士会 会長 古根村 博和

議員提出議案 3件

◎愛川町議会議員の議員

報酬、費用弁償及び期末

手当に関する条例の一部

改正

(賛成2人・反対15人)

ポイント＝会派民主みら

いから、世界的金融財政

危機の影響を受け、法人

町民税が減少している中

本町の厳しい財政状況に

鑑み、平成22年4月1日

から平成23年3月31日ま

での間、議員の報酬月額

を議長2万5千円、副議

長2万2千円、議員2万

円を減額する改正条例が

提出されたものです。

重度障害者医療費助成制度の 充実を求める意見書

重度障害者医療費助成制度については、身体障害者及び知的障害者は対象としているが、精神障害者を対象外としている。

精神科治療は長期間にわたる場合があり、受診者の医療費負担が大きくなり治療を中断させてしまう原因ともなりかねないことから、継続して正しい治療が受けられるよう、また、身体・知的・精神の3障害の制度格差を解消するためにも、早期に精神障害者を対象とする必要がある。

したがって、県におかれては精神障害者の方が安心して治療が受けられる制度に見直すよう、次の事項について強く要望する。

- 1 重度障害者医療費助成制度の対象に、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方を加えること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成22年3月25日

神奈川県知事 松 沢 成 文 殿

神奈川県愛甲郡愛川町議会
議 長 森 川 絹 枝

改正貸金業法の完全施行等を求める意見書

深刻化する多重債務問題を解決するため、出資法の上限金利の引き下げや過剰貸付契約の禁止などを含む改正貸金業法が平成18年12月に成立し、本年6月までに完全施行される予定である。

改正貸金業法成立後、政府は多重債務者対策本部を設置し、相談窓口の拡充やセーフティネット貸付の充実、ヤミ金融の撲滅などに官民連携して取り組んできた結果、多重債務者が大幅に減少するなど、着実にその成果を上げつつある。

一方、消費者金融の成約率の低下や資金調達を制限された中小企業者の倒産が増加していることなどを殊更強調し、改正貸金業法の完全施行の延期や貸金業者に対する規制の緩和を求める声も出ている。

しかしながら、改正貸金業法の完全施行の先延ばしや貸金業者に対する規制緩和への動きは、多重債務者等の増加に拍車をかけるものであり、再び自殺者や自己破産者、多重債務者の急増を招きかねない。

よって、国におかれては、地方消費者行政の充実及び多重債務問題が喫緊の課題であることを踏まえ、次の事項について実現されるよう強く要望する。

- 1 改正貸金業法を平成22年6月に完全施行すること。
- 2 地方自治体における多重債務相談体制の整備のため、相談員の人件費を含む予算を十分確保するなど、相談窓口の拡充を支援すること。
- 3 個人及び中小事業者向けのセーフティネット貸付をさらに充実させること。
- 4 ヤミ金融を徹底的に摘発すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成22年3月25日

衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・総務大臣・法務大臣・
国家公安委員会委員長・内閣府特命担当大臣（金融）・内閣府
特命担当大臣（消費者） 殿

神奈川県愛甲郡愛川町議会
議 長 森 川 絹 枝

◎改正貸金業法の完全施行等を求める意見書
◎重度障害者医療費助成制度の充実を求める意見書

（以上2件、賛成全員）
議員提出議案として提出され、審議の結果、原

案のとおり可決し、次のとおり意見書を関係行政庁に送付しました。



中津225号線を調査
(総務建設常任委員会)

各常任委員会での質疑要旨

総務建設常任委員会

問 法人町民税の歳入見込額4億2千万円の信頼性について

答 平成21年度の法人町民税の決算見込額が4億2千500万円であること、また国内の主要民間シンクタンク15社の経済見通しでは、平成22年以降、緩やかに経済が回復基調をたどると発表されており、最近ではアジア

向けを中心に輸出の持ち直し傾向が続いていることから、平成22年度の法人町民税の4億2千万円については、これ以上の減収がないものと考えています。

問 生ごみ処理容器及び電動式生ごみ処理機の使用拡大方策について

答 生ごみ処理容器及び電動式生ごみ処理機購入補助制度の周知については、町広報紙をはじめ、

ホームページなどへの掲載のほか、平成19年度から年2回開催している「生ごみ堆肥化講習会」において補助制度の啓発を行っています。今後とも、町広報紙やホームページへの掲載による制度案内のほか、町で開催する各事業などにもコーナーを設けることを検討しており、使用拡大への周知を図っていきたいと考えています。

問 観光マップの配布先等について

答 観光マップの配布設置先は、商工観光課の観光情報カウンターや本庁舎1階インフォメーション、あいかわ公園等です。町外では、神奈川県観光協会（横浜シルクセンター）、県政総合センター、県立宮ヶ瀬やまなみセンター等です。

また、町のイベントや神奈川県主催のイベント会場などで観光パンフレットを配布することにより積極的に町の観光PR

を行っています。

教育民生常任委員会

問 高齢者バス割引乗車券購入費助成事業費において新規に役場で購入できる内容について

答 新年度は、町役場会議室を使用し、神奈中からの出張販売を行っているところです。日数については、全体の購入者数の4分の3が6月に集中していることから、6月に3日間程度、9月に1日を予定し、協議を進めています。

問 中津南保育園大規模改修工事のスケジュールについて

答 改修工事については平成22年度・23年度にかけての継続事業です。工事スケジュールは、平成22年7月に入札を予定し、8月初旬に工事請負契約を締結し、9月より本格的に1階吹き抜け部分の保育室への改修及び「みんなのトイレ」や「倉庫」を新たに増設し、年内に保育スペースの増設を終え、年明けから3月にかけて、耐震工事を行います。その後、2階の保育室の内装の改修工事や、既存部分の改修を進めていきます。最後に事務室や玄関ホールを改修し平成23年8月末までに本改修工事を完了する予定です。



中津南保育園大規模改修工事を調査
(教育民生常任委員会)

問 高等学校等通学助成事業の申請方法について

答 申請の方法は、申請用紙に、申請者の氏名・住所・助成金の振込先、生徒の在学校名・通学の状況（バス乗車区間や自転車通学）などを記入します。次に、通学方法の確認を行うために高等学校等の校長から通学の証明を得ていただき、町に申請する手順です。申請の時期は、前期・後期の年2回とし、前期の申請時期は6月、後期は12月です。町では申請内容の確認後、申請から3か月後の9月と3月に口座振り込みを行います。

会派 議決一覧表

各会派賛否 ○…賛成、●…反対

議案番号	議 案 の 件 名	あいかわ (6人) 馬場議員 林 議員 中山議員 鈴木議員 成瀬議員 渡辺議員	愛 政 (4人) 熊澤議員 鳥羽議員 小倉議員 熊坂弘久議員	あすか (2人) 山中議員 小島議員	共 産 (2人) 井上議員 小林議員	民主みらい (2人) 熊坂徹議員 近藤議員	公明 (2人) 井出議員 森川議員	議決結果
議員提出 第1号	愛川町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	●	●	●	●	○	●	否決
議員提出 第2号	改正貸金業法の完全施行等を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	可決
議員提出 第3号	重度障害者医療費助成制度の充実を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第1号	愛川町消防長の任命資格を定める条例の制定について	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第2号	愛川町職員の給与に関する条例及び愛川町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第3号	愛川町長等常勤の特別職の給与に関する条例及び愛川町教育委員会教育長の給与その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第4号	愛川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	●	○	○	可決
町長提出 第5号	愛川町奨学金条例を廃止する条例の制定について	○	○	○	●	●	○	可決
町長提出 第6号	愛川町放課後児童クラブ育成料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第7号	愛川町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第8号	平成21年度愛川町一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第9号	平成21年度愛川町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第10号	平成21年度愛川町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第11号	平成21年度愛川町老人保健特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第12号	平成21年度愛川町介護保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第13号	平成21年度愛川町下水道事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第14号	平成21年度愛川町水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第15号	平成22年度愛川町一般会計予算	○	○	○	○	●	○	可決
町長提出 第16号	平成22年度愛川町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	●	○	○	可決
町長提出 第17号	平成22年度愛川町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	●	○	○	可決
町長提出 第18号	平成22年度愛川町老人保健特別会計予算	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第19号	平成22年度愛川町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第20号	平成22年度愛川町下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第21号	平成22年度愛川町水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第22号	指定管理者の指定について（小沢児童館）	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第23号	町道路線の廃止について	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第24号	町道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第25号	損害賠償額の決定について	○	○	○	○	○	○	可決
請願 第1号	所得税法第56条廃止の意見書を国に提出することを求める請願	●	●	○	○	○	●	不採択
陳情 第13号	(平成21年分) 重度障害者医療費助成制度の充実を求める陳情書	○	○	○	○	○	○	採択
陳情 第14号	(平成21年分) 平成22年度における重度障害者医療費助成制度継続の陳情	○	○	○	●	●	○	趣旨了承
陳情 第15号	(平成21年分) 新型インフルエンザ対策ならびに助成等の支援に関する陳情	○	○	○	○	○	○	趣旨了承
陳情 第1号	「JR不採用問題の早期解決に向けた意見書を国に提出することを求める」ことについての陳情	—	—	—	—	—	—	机上配付
陳情 第2号	改正貸金業法の完全施行等に関する意見書の提出を求める陳情	○	○	○	○	○	○	採択

※請願第1号は原案採択に対する賛否
 ※陳情第13・14・15・2号は委員長報告に対する賛否

一般質問



町長 企画政策課を中心に各課の主幹クラス職員による政策研究プロジェクトチームを組織し、専門的な立場での指導、助言や具体的、総合的な検討をするシステムをつくりたいと考えています。

担当課を中心に チーム組織し検討

問 地方分権が進み、市町村は地域の頭脳センターとして、情報の収集や政策の研究が重要なテーマになりました。そこで、職員の人材育成と政策研究を結びつける考えはないか伺います。

人材育成・政策研究 ドッキングの考え



熊坂 徹議員

町長 現在、外部評価の実施に当たっては、どなたでも傍聴できるよう、会議の公開に努めています。今後、より多くの皆さんから評価結果に対するご意見をお伺いするため、公表の時期を早め、評価結果がまとまった段階で公表したいと考えています。

まとまった段階で 結果の公表早める

問 限られた財源を有効に活用するためには、施策や事業の検証、チェックを行う行政評価制度の充実強化が不可欠です。そこで、自治基本条例に基づき、積極的に情報を公開、共有し、行政評価を参加協働のまちづくりにつなげていく考えはないか伺います。

行政評価制度 積極的情報公開

町長 地域医療の中核として、なお一層、地域社会から信頼され、患者中心の良質な医療の提供に努めていただき、その役割の実現に向け努力をお願いし、鋭意、病院側と協議を重ねていきます。

地域医療の中核 鋭意病院と協議

問 昨年5月に町民が待ち望んだ愛川北部病院が開院しました。しかし、病院に対する要望をたびたび耳にしますが、町としての取り組みを伺います。

愛川北部病院 住民要望について



渡辺 基議員

町長 厚木市環境センターの改修後の稼働開始時期は、平成25年度から稼働時期が変更厚木市と十分協議

稼働時期が変更 厚木市と十分協議

問 平成24年度から本町のごみは厚木市金田にある環境センターで焼却される予定となっておりませんが、移行にあたっての取り組みについて伺います。

ごみ処理広域化の取り組み

と変更になりました。したがって、厚木市と協議調整を進めるとともに、現在の美化プラント施設の整備についても万全を期していきます。更に収集体制の変更についての周知は、町広報誌やお茶の間通信・ホームページ・住民の方との直接対話を考えています。

他の質問事項①国民読書年



地域医療の中核である愛川北部病院

シニアの健康遊具 増設の考え



熊坂 弘久議員

問

シニア健康遊具
の増設についての
考えを伺います。

アドバイス を仰ぎ 設置を進める

町長 平成19年に町内3公園に9基設置しました。また、田代運動公園にはストレッチ遊具を5基設置しました。近隣市の視察は実施していませんが、その道の権威の方には、今後アドバイスを仰ぎながら、高齢化の中でシニアの健康増進のため、設置を進めていきたいと考えています。



田代運動公園に設置してある健康遊具

町広報板の風雨対策

問

町広報板の状況
を調査し、風雨対策を検討されたか伺います。

新設・補修は町 管理は各行政区で

町長 各行政区に設置されている広報案内板は自治会の事業等を地域住民に周知するツールとして町内78カ所に配置しています。この案内板は、町が設置し管理は行政区で

行っています。毎年各行政区から要望を伺い、修繕等の対応をしています。風雨対策では、現在の案内板は鉄枠にベニヤ板を張ったものでガラス戸はつけられません。新たにガラス戸付のものにするには高額の費用を要するので改修する計画はありません。しつかり掲示し風雨後の見回りなどを行政区にお願いします。他の質問事項①住宅エコ対策について

角田大橋交差点 改良の進捗状況



成瀬 和治議員

問

平成21年3月議会
において角田大橋交
差点改良の早期実現を要
望しました。そこで現在
の進捗状況を伺います。

引続き県へ要望 町も全面的協力

町長 県は、幣山下平線の供用年度は認識しており、引き続き、この交差点改良に必要な用地取得を進め、工事についても用地取得や補償など、ある程度のめどが立った時点で着手したいと伺っています。町としても、できる限りの協力をしていきたいと考えています。

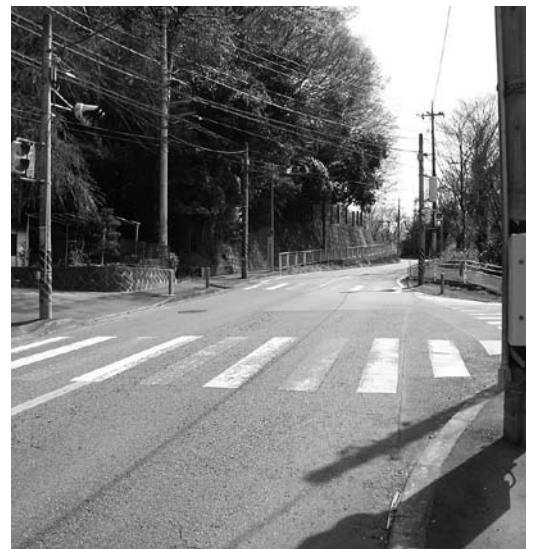
半原交番用地町購入の考え

問

半原交番につい
ては、犯罪件数が多い、国道沿いに移設してほしいとの要望をしてきました。そこで、交番用地を町で購入する
考えについて伺います。

用地は県の事業 要請あれば努力

町長 交番用地は、県において用地を購入し、設置することが原則です。町としては、交番の移設などが具体化し、警察か



早期改良が望まれる角田大橋交差点

ら用地確保についての協力要請があった場合には、可能な限り、協力したいと考えています。半原地区の国道沿いへの交番移設については、安全安心のまちづくりを進めていく上で、地域に必要不可欠な施設と考えていることから、今後も、粘り強く、関係機関への要望を続けていきたいと考えています。他の質問事項①山の手入れと鳥獣等

町長 本町では、角田の和田医院、半原の八木クリニック、愛川北部病院が、往診医療を行っています。今後は町内医師会と協議しながら愛川北部病院を拠点に医療体制の充実に努めていきます。

3 施設で実施 今後医師会と協議

問 増え続ける医療費対策として、愛川北部病院と地元医師会の連携による在宅医療の環境整備が急務と考えます。そこで、本町の取り組み状況を伺います。

増大する医療費 在宅医療整備望む



小倉 英嗣議員

問 徳島県の上勝町や葉山町では、焼却や埋め立てをしない、ごみ0ウェイスト宣言をして、上勝町では、ごみの80%以上が資源化されています。そこで、本町の減量実績と資源化率を伺います。

ごみの減量実績と資源化率

本計画の中で、平成16年度から22年度までの7年間に平成9年度比で、7%以上の削減と24%以上の資源化率を目標に取り組んでいます。現在の資源化率は18・38%といいますが、今後は厚木市のごみ処理広域化に併せて資源化率の向上に努めていきます。

他の質問事項①有害鳥獣
②町道脇の立木伐採



問 さがみ縦貫道の開通に合わせ、本町から、さがみ縦貫經由で海老名駅までの高速バス運行の取り組みを伺います。

さがみ縦貫道經由 新高速バス運行



小島総一郎議員

従前にも協議 開業経費が必要

総務部長 高速バスの運行については、従前にも神奈川中央交通と協議を行った経過があります。高速の場合、座席のみの乗車に限定された車種による運行となり、開業経費が、かかることから、現時点では、実現は難しいようです。

問

相模原市は、新たに4つの工業団地を整備し強固な産業基盤をつくと発表しました。本町も新たな工業団地を整備する考えについて伺います。

新たな工業団地整備の考え

地区の1ツ井箕輪線沿いの沿道などを位置づけています。これは、長期的な視点で、取り組みをしていく必要があると考えています。

新制度の検討と 誘致策充実を図る

町長 町の都市マスタープランでは、将来的に町の安定的な都市経営を図るため、新たな工業系土地利用地域として、箕輪

よって、当面は、企業誘致条例の見直しなど、企業誘致方策の検討を行い、工業系空き用地への企業誘致に努めていくほか、内陸工業団地の現状の建ぺい率45%の拡大なども検討をしていきたいと考えています。

他の質問事項①馬渡橋



本町の都市マスタープラン

飛行場通信室など 近代遺産の保存を



井上 博明議員

問 本町には、田代第2発電所の建物、燃糸工場、中津飛行場通信施設など近代遺産がありますが、この保存活用について町の取り組みを伺います。

**所有者の理解が必要
今後研究する**

町長 例示された近代遺産は、個人や企業が所有しており、保存活用には所有者のご理解ご協力を得る必要があります。大変難しい問題と認識しています。今後、文化財保護委員のご意見を伺い研究していきます。



町の近代遺産でもある中津飛行場通信室
＝中津地内

「認知症サポーター」 増員計画は

問

高齢化に伴い、認知症の方は増加傾向にあります。認知症の方や介護者に寄り添って理解し、サポートする認知症サポーターの養成講座を増やす必要があります。今後、町は、何年度までに何名の認知症サポーターを増やす計画を持っているのか伺います。

**25年度までに
250名を目指す**

民生部長 認知症サポーター講座は、平成21年度から初めて開催しました。身近なところから地域での認知症サポーターの輪が広がるよう、年間50名前後の養成を目標にし、平成25年度までに200名から250名の養成を目指したいと考えます。

他の質問事項①高齢者対策②防災対策

イベント用食器 貸出の取り組み



小林 敬子議員

問 平成25年度から廃プラスチックの分別回収を目指していますが、繰り返し使えるようにイベント用の食器の貸出の取り組みについて伺います。

**経費節減効果等
今後の研究課題**

町長 メリットやデメリットを踏まえて、本町での各種イベントについて規模の問題や経費節減効果を始め、効率性や安全性も含めて、今後の研究課題とします。

「国民健康保険税減免」 住宅扶助相当額の考慮を

問

最低生活費の計算で生活保護の住宅扶助相当額(4万3千円)の住宅費(住宅ローンや住宅維持費)を全く考慮しないのは公平性に欠けるのではないかと。

**最低生活費の認定
住宅ローン考えず**

町長 本町の国民健康保険税を減免する際の最低生活費認定基準について

は、生活保護世帯と比較しても著しく公平を欠くことのないよう、生活保護法に準じた判定をしています。住宅ローンについては、財産を取得するための支払いであり、他の被保険者との公平性を欠くことになるので、住宅ローン等の住居費を認めることは、課題も多いことから考えていません。

他の質問事項なし



イベントの一つである愛川町ふるさとまつり

町長 今国会での法制化に対して地方議会の反対の動きが活発化しています。こうした状況を踏まえて、国においては整理すべき問題点についての方向性が示されておらず、まだ議論が不十分ではないかと認識をしているところです。

地方に反対の動き 国の議論は不十分

問 本町は外国籍住民比率が高い町ですが、地方参政権を付与すべきかどうかについて伺います。

永住外国人の 地方参政権



山中 正樹議員



永住外国人地方参政権の関連記事
＝2月12日 自治日報

町長 中津3、三増1、田代2、半原2と配置しています。集約化については、新たに土地を取得する必要もあり建設費などの初期投資もあること

地域バランス配慮 今の町営住宅活用

町長 中津3、三増1、田代2、半原2と配置しています。集約化については、新たに土地を取得する必要もあり建設費などの初期投資もあること

「町営住宅」 集約化と借上の考え

問 超高齢化社会を見据えた町営住宅集約化の考えと、民間住宅の空き家の借上げの考えはないか伺います。

支援シートの活用 情報交換の促進へ

町長 支援シートは、入学・進学時、支援が必要な子供の情報を関係機関で引継ぎ、適切な支援を継続する為に活用しています。幼・保と学校との連携は、指導要録と保育要録等で連携を深めます。

問 保育園、幼稚園から小学校に入学する際、保護者・保育士・教師間の情報交換も含めて、どの様に引継ぎがされているのか、本町の支援教育の体制について伺います。

支援教育の推進と 学校・幼保の連携



近藤 幸子議員

事前の研修会開催 考えていない

問 本町では、自治基本条例のもと、審議会等が設置されています。委員の公募など住民参加の促進も考慮していますが、内容の向上の為に、事前の資料配付だけでなく前段で研修会等を行い、委員間で問題の共有化を図る必要が有ります。協議会も同様、その重要性をどのように捉えているのか伺います。

審議会と協議会の充実

町長 町の審議会等は各計画施策の策定や検討過程、方向性について、町民や学識経験者などの意見をお聞きすることを目的に設置し、町政を推進する上で重要な役割を果たしています。案件によって一概に言えませんが通常の場合は改めて事前の勉強会や研修会を開催していくことは考えていません。

他の質問①農業の繁栄と新たな試み



保育所の保育要録と
幼稚園の指導要録

消防団編成 見直しの考え



馬場 司議員

問 愛川町消防団全体の編成について見直す時期が来ていると考えますが、その見解を伺います。

再編は時期尚早 団員の確保を図る

町長 これまで平成10・11年度にかけ、組織全体の検討を行いました。組織再編は時期尚早であるとのことで見送られ、現時点では、町全体の編成の見直しについては行わず消防団員の確保や団員の資質の向上を図りながら消防団組織の適切な運営に努めたいと考えます。



地域防災の中心となる消防団員
＝今年の消防団辞令交付式

観光収入で税収確保を

問 税収減を補う観光収入のための方策を伺います。

エコツーリズム等 収入方策を検討

町長 自然をキーワードにした里山体験や町内の観光名所、史跡、景勝地の周遊などを取り入れたエコツーリズムについて、

民間の旅行会社などとタイアップした取り組みを検討するなど、観光客の誘致を積極的に行い、経済効果が図れるよう努めたいと考えています。
また、観光キャラクターの検討など長期視点の中で、観光収入につながる方策を検討していきたいと考えています。
他の質問事項①水道事業

適切な救急体制 電話相談の開設を



井出 一己議員

問 適切な救急体制の維持、また、不要な救急車出動の抑制のため、専門の医師、看護師などが答える24時間365日の電話相談の開設の考えについて伺います。

活用範囲広い 調査研究する

消防長 確かに、軽傷で救急車を呼んでしまうことや、また、わからない方の中には多くいると思います。電話相談については、活用範囲が広いので調査、研究していきたいと考えます。

「AED」 屋外運動競技に貸出を

問 屋外で行う各種スポーツ大会の実施の際、身近にAEDがあると、安心につながります。希望される団体等へのAEDの貸出しの考えについて伺います。

安心な開催の支援 検討していく

消防長 スポーツ大会等でAEDが無いグラウンドなどで行う際、安心してスポーツ大会ができるようにAEDの貸し出しについて検討していきます。
他の質問事項①防災について



屋外運動競技に貸出しが望まれるAED

問 質 代 表 派 会

あいかわクラブ

(中山 民子 議員)

中山議員Ⅱ平成21年10月から中学校給食が始まりました。

喫食率の低下が気になります。新年度の取り組みについて

山田町長Ⅱ喫食率については、栄養バランスのとれた給食であることから、先生、保護者の方からも好評との声をいただいています。一方では家庭からの弁当を持参する生徒も多く、現時点での申し込み割合は40%前後となっています。

そこで、この申し込み割合などを高めるための具体的な対策では、現行の申し込み手続を1カ月単位での申し込みとしていますが、年間を通して申し込みをしたい家庭も多くあると聞き及んでいることや、毎月の申し込み手続が煩わしいとの意見もあることから、1年分をまとめて申し込みすることができる年間給食申し

込み方法を平成22年度から実施することにしていきます。

また、実施運営上の検証を行なう中で、課題や問題などが発生した場合には、その都度、事務局関係者が調査検討を行なうとともに、3つの中学校の教頭先生を始め給食担当の先生と教育委員会事務局の担当職員とで構成する中学校給食運営委員会を開催し、課題解決に向けた調整、協議を行っていきます。

中山議員Ⅱ遊休荒廃農地を再利用する新規就農者に対する支援の取り組みについて

山田町長Ⅱ平成22年度からの新規事業として新たに農業を始めたという方が、遊休荒廃農地を復元して圃場として再活用する場合は、荒廃農地の草刈りや耕耘することに要した費用の一部を助成することにより、新規就

農に取り組みやすい環境を整備するものであり、遊休荒廃農地の解消に資するものと考えています。

他の主な質問事項

①第4次総合計画の達成度②今後の財政見通し③住民ニーズに対応した編

愛政クラブ

(熊澤 俊治 議員)

熊澤議員Ⅱ子育て支援と健康、そして教育に配慮した町民生活を優先した予算を編成されたということでありますが、町長の決意について

山田町長Ⅱ子育て支援と健康教育に配慮した町民生活優先の予算編成に対する町長の決意でありま

すが、身近な行政サービスを質、量ともに低下させない、町民の生活に直結する事業を優先することを念頭に置いて予算を編成したものであります。

町民の健康、福祉や子育て支援、教育を始め環境や都市基盤整備など身近な町民生活に直結する事業に可能な限りの予算

成の詳細④中津川河川敷の公園化⑤(仮称)環境美化条例の取り組み⑥地域福祉計画・地域活動計画⑦新学習指導要領⑧高

校生通学費助成⑨消防広域化⑩住民参加推進の方策

配分を行なったものです。

熊澤議員Ⅱ奨学金制度を廃止し、財政調整基金に繰り入れた理由について

山田町長Ⅱ奨学金制度を廃止し財政調整基金に繰り入れた理由については公立高等学校に係る授業料の不徴収及び高等学校等就学支援金の支給に関する法律案が可決、成立することにより、平成22年度から公立学校授業料の実質無償化と公立高等学校以外の高等学校等の授業料に充てるための高等学校等就学支援金の支給が実施されることから高等学校等の授業料支援を目的として給付している愛川町奨学金制度を廃

止することにしたものです。

新年度に、これに代わる施策として、多くの保護者の方からご要望をいただいた高等学校等通学助成制度に一般財源を充て実施することとしています。

他の主な質問事項

①雨水対策②水道事業会計の経営状況③耐震性配水管の布設状況④人件費構成比率⑤第4次総合計画⑥税収見通し⑦さがみ縦貫道路インターチェンジの名称⑧小田急多摩線延伸



あすか

(山中 正樹議員)

山中議員Ⅱ臨時財政対策債を限度まで活用する予定のようですが、償還に向けての計画について

山田町長Ⅱ臨時財政対策

債は、地方の一般財源の

不足に対処するため、地

方財政法第5条の特例と

して発行が認められた地

方債であり、町税を始め

とする一般財源が減収と

なる場合などに対応する

ために借り入れを行うも

のです。

新年度の借入額は、多

額の財源不足を補うた

め、借入限度見込み額の



評価制度を用いて3年に一度見直しを実施することとしています。

見直し結果の前倒しが

可能なものについては、

平成22年度の予算に反映

させたところであります。

その内訳としては、廃

止した補助金が3件で、

削減額が55万1千円、縮

小した補助金が10件で、

削減額が98万5千円であ

り、合計で1億5千3万6千

円を削減したところです。

他の主な質問事項

①歩行者の安全確保とバ

共産党

(井上 博明議員)

井上議員Ⅱ今後における本町の出生率の予測について

山田町長Ⅱ本町の出生数

の推移については、

平成16年度が357人、

平成17年度が313人、

平成18年度が331人、

平成19年度が314人、

平成20年度が321人、

平成21年度が293人と

なっており、毎年増減を

繰り返す、いわゆる波状

傾向にあります。

町としても、1人でも

多くのお子さんが生まれ

神科治療は長期間にわたる場合があります。

受診者の医療費負担が

大きくなり、結果として

治療を中断させてしま

う原因ともなりかねないこ

とから、継続して正しい

治療が受けられるよう、

また、身体、知的、精神

の3障害の制度格差を解

消するためにも、早期に

重度障害者医療費助成制

度の対象に精神障害者を

加えるよう、町村会を通

じ、引き続き要望をして

民主みらい

(熊坂 徹議員)

熊坂徹議員Ⅱ平成21年度から地方債の残高が増加していますが、将来に向けた財政運営の考え方について

山田町長Ⅱ将来に向けた

財政運営の考え方につ

いては、町税や使用料な

どの収納率向上や行政改

革などに積極的に取り組む

とともに、起債について

は、極力元金償還額以内

の活用を基本とし、公債

費が増大することのない

よう配慮し、年度間の財

源の均衡を図る上で財政

調整基金の一定額の確保

も大切なことと考えてい

と金額について
山田町長Ⅱスクラップした事業と創設、ビルドした事業の本数と金額ですが、まず、行政改革大綱に基づく事務事業の見直し関係で約8千100万円の削減、経常的経費のマイナスイリミングにより約5千400万円の削減、合わせて1億3千500万円の事業費の削減を行いました。

このうち、廃止した事業については、7本で、金額にして約600万円の削減、一方、スクラップ・アンド・ビルドにより新設した事務事業は2本であり、これは、地域巡回健康相談事業と高等学校等通学助成事業の2本であり、その事業費は1千746万円です。

他の主な質問事項

①各種計画の策定②高校生通学費助成事業③愛川町長等常勤特別職の給与に関する条例

映



公明党

(井出 一己議員)

井出議員Ⅱ温室効果ガス排出に対する取り組みの中から、新年度の優先的な取り組みについて

山田町長Ⅱ新年度の取り組みとして、自然エネルギーを有効に利用し、環境負荷の軽減を図る住宅用太陽光発電設備に対する助成制度を継続し、一層の普及促進に努めます。

新年度は住宅用太陽光発電設備設置補助件数を30件から40件に拡大していきます。

次に、環境に配慮した電気自動車の普及促進であり、新年度は個人ユーザー向けの販売が予定されることから、平成22年度から5年間電気自動車に係る本町の軽自動車税を全額免除し、町内の電気自動車の普及を図っていきたくと考えています。

井出議員Ⅱ生活習慣病予防対策における新年度の優先的な取り組みについて

山田町長Ⅱ生活習慣病検診事業として、疾病の予防、早期発見、早期治療のため、がん検診、肝炎

ウイルス検診、生活保護受給者等健康診査及び成人歯科健康診査を実施していきます。

本町におけるがん検診については、集団検診と個別検診があり、検診の種類では胃がん、肺がん

大腸がん、乳がん、子宮がん、前立腺がんの6種類のがん検診を実施しており、検診の年齢要件などでは、国のがん検診の指針を上回る受診体制としています。

他の主な質問事項

①生活習慣病予防対策

②高齢者福祉



討

論

一般会計・条例・特別会計

反対

民主みらい

近藤幸子 議員

会派民主みらいを代表し、議案第15号平成22年度予算に対し、反対の立場から討論をします。

まず、歳入ですが、長引く不況下、前年度と比較すると法人町民税の大幅な減、そして個人町民税も厳しい雇用状況、給与所得の減少に伴い、町税全体では、前年度比、過去最高の約6億3千2百万円のマイナスとなりました。

歳出では、国は県立高等学校の授業料無償化、私立高校の授業料一部助成の施策を行うことに伴い、本町では奨学金金を廃止し、全額を一般会計へ繰り入れるということですが、授業料が全額無料や授業料が一部助成になるからと言って、奨学金金を廃止することは反対です。

郷土資料館管理経費は平成22年度より通年の運営になるということで、

本町は1千593万円ぐらいいである答弁をいただきました。たとえ社会教育施設とはいえ、歳出は年々掛かり、全く歳入が見込めない施設をつくる必要があったのでしょうか。わが会派は一貫して反対です。

商工費の障害者雇用奨励補助金については、障害者を雇用している中小企業へ一人につき年額3万円を交付するものですが、町内に住所を有する障害者という条件がつけられています。しかし、補助金の対象は障害者ではなく、障害者に雇用の場を提供している企業であり、また障害者の雇用を奨励・促進するという事業の目的からして住所要件は必要であり、目的の妨げになることから、早急に見直していただきたい。

賛成

あいかわクラブ 馬場 司 議員

あいかわクラブを代表し、賛成の立場で討論します。

「愛川町消防長の任命資格を定める条例の制定について」は「市町村の消防長及び消防署長の任命資格を定める政令の一部を改正する政令」が施行され、今までの困難な資格要件の緩和措置であり、今後の本町の職員構成を見据えた中での資格要件を制定するもので賛成します。

荒廃農地対策費補助金を設けるなど、農地の遊休化や荒廃化に対応するための新たな施策であり評価します。

土木費では、地域の生活道路の整備として、未改良路線の拡幅改良・舗装工事等を実施し、交通の円滑化をはじめ歩行者の安全確保とバリアフリーの推進を図るとともに、集中豪雨や地震等により災害発生への恐れのある危険箇所の整備など、災害の未然防止に努めるものであり評価します。

水道事業会計では、水道施設の防災対策として戸倉第4水源取水設備非常時停電対策工事を実施するとともに、配水管の布設替工事や老朽化した設備の更新など、安全で良質な水の安定供給に努めることとしており評価します。

農林水産業費では、遊休荒廃地を再活用する新規就農者に対する「遊休

賛成

愛政クラブ

熊取弘久 議員

愛政クラブを代表し賛成の立場から討論します。

県立高等学校の授業料が支給されることにより、今まで支給支援してきた県立高校授業料での理解も考えるところですが、本来奨学金制度は、経済的に困難な世帯の方に支給支援することが目的であり、特にご寄付をいただいた方のご好意を尊重するならば、若千の修正を加えてでも本制度の維持を求めるところです。

新年度予算の中でのハード面では、中津南保育園の大規模改修事業を平成22・23年度までの継続事業として総額7千100万円余りを措置しています。

また、中津小学校のトイレ改修など愛川中原中学校のプール改修工事等小・中学校施設整備充実のための事業に5千600万円、道路網の整備では、町内幹線道路の渋滞解消と利便性向上のために、幣山下平線を平成23年4月の供用を目指した整備、また、町内38路線の整備事業費2億9千600万円の投入は、適正なものとは判断します。

ソフト面では、現下の厳しい雇用情勢の中で「緊急雇用創出特別対策事業」を実施し、43人の雇用を行うこと、さらに低炭素社会実現のための布石として「住宅用太陽光発電設備」費用助成金の継続など住民ニーズに対応した適切な予算措置であります。

また、特別会計においては、前年比4.3%の減の84億6千450万円、水道事業会計前年比15.1%減の7億1千500万円についても適正なものと考えます。

また、中津小学校のトイレ改修など愛川中原中学校のプール改修工事等小・中学校施設整備充実のための事業に5千600万円、道路網の整備

賛成

あすか

小島総一郎 議員

あすかを代表し、一般会計予算並びに特別会計予算に対し、賛成の立場で討論します。

防犯対策費の安全安心パトロール事業では、平成17年より業務を警察官OBに委託しています

が、事業から5年も経過しているにも関わらず、経費の見直しや業務内容の検証がされていません。

日当単価についても1万4千円以上と環境課がシルバー人材センターに委託している不法投棄防止パトロールの日当単価7千円とは大きな開きがあります。費用対効果の観点から再検討をお願い

します。

畜産環境改善推進事業では、養豚業の臭気対策に関しては効果が上がっており評価をします。

養鶏場の臭気対策については、早急な対応を担当課だけではなく、中津地区住民の住環境を守る

観点からも、環境課なども協力をし、全庁的な取り組みを期待します。

幣山下平線については、開通に向けて大詰めを向かえています。

あと一歩です。気を緩めずに最後の努力を期待します。

消防費では、高規格救急車の更新や消防司令室の機材の改修などに取り組まれますが、町民の安全安心のためにも引き続き消防機器材の維持、更新に期待をするものです。

特別会計では、下水道事業の中で、半原久保地域と野尻沢の雨水対策整備が継続事業で進められます。迅速な対応については高く評価します。

浸水被害の未然防止のためにも鋭意取り組んでいただきたいと思います。

活発な意見

賛成 日本共産党

井上博明 議員

日本共産党を代表し賛成討論をします。

税収の確保は、国の経済政策に大きく左右されますが、引き続き安定した財源確保に向け、企業誘致や中小企業対策の充実を始め、町においては一層の事務事業の見直し、行政改革、外部評価の推進に努めるよう要請します。

小児医療費助成事業では、小学4年生から6年生までの拡大、国の施策による子ども手当支給事業は子育て家庭への経済的負担の軽減につながるものであり評価します。

また、民間保育園入園世帯への助成金を増額するよう努力していただきたい。

高校生の通学費助成事業の実施は大いに評価します。

学習サポーターについては、各校への増員と学校図書館では、専門の職

員である学校司書の配置を要請します。

農業関係では、獣害防止電気柵の設置や遊休・荒廃農地の解消に向けた取り組みを評価します。

国の施策である緊急雇用創出事業を活用しての各種事業は評価しますが同補助事業の終了後も町独自の雇用創出に力をいれていただきたい。

消防では、消防の広域化の検討、中間報告がされるようでありますが、広域化により、小規模自治体はサービスの向上・充実の名のもと、多額の財政負担を強いられま

す。広域化は進めるべきではありません。

消防団については、機

能別消防団の早期創設・女性消防団員の採用を要請します。

賛成 公明党

井出一己 議員

公明党を代表し賛成の立場から討論します。

本予算で評価すべき事業は、新保健センター建設基本計画の策定事業、特別養護老人ホーム新設事業、ひまわりの家・かえでの家運営委託事業、子育て支援おむつ支給事業、中津南保育園の保育所施設整備事業、対象を小学6年生まで拡大した小児医療費助成事業、教育指導費からサポーター、介助員、特別支援教育支援員派遣事業、がん検診率向上のための女性特有のがん無料クーポン券等交付事業、環境美化条例の制定事業、緊急雇用対策事業、雨水対策事業です。

また、質的経費では、特別職期末手当の削減です。

高齢者福祉では、在宅介護を支援する事業として「小規模多機能型居宅介護事業」は在宅介護を支援する事業であり、住

み慣れた自宅や地域の中で生活を続けるための地域密着型の介護支援の拠点となり、グループホームとともに施設が誕生しやすい環境整備の取り組みを要望します。

町内循環バスについては、路線バスとのネットワーク化によって、便利で快適な交通体系を目標に再編され、2年間の実証機関が本年の9月に終了します。しかし、この間にも利用者の多くの要望を聞いています。

とりわけ半原ルートの方から、コースや停留所の場所、廃止路線の復活など、高齢者の方に限らず利用される多くの方からの要望です。

循環バスは交通不便地域の解消や路線バスとの乗り継ぎにより利便性向上を図るとありますが、多くの町民の声を取り入れた、まちの交通機関になるように要望します。

議員 研修会

平成22年2月12日に愛川町役場会議室において愛甲郡（愛川町・清川村）町村議会議員研修会を次のとおり開催しました。

講師 専修大学講師

元全国市議会議長
会調査広報部長

加藤 幸雄 氏

内容 「今、求められる議会像と議員像」

平成22年2月19日に愛川町役場会議室において愛川町議会議員研修会を次のとおり開催しました。

講師 市町村アカデミー

客員教授

大塚 康男 氏

内容 「議会人が知っておきたい危機管理術」

町民の声

「素晴らしい出会いに感謝」



畠山 孝之 さん

(中津在住)

大和市から愛川町に移り20余年、周りの自然に大変満足しております。しかし、地域の事は何も知らず先の10年は自宅と会社の往復、つまり普通の会社人間でした。それが順番で回ってきた町内会長をやらせて頂き、地域の事、活動内容の事など良い経験が出来たと思います。それに多くの人に出会う事が出来て充実した2

年でした。その後、育成会役員にももちろん当初は不安でしたが、多くの人達に支えられ少しは活動出来たと思います。中でも同じ役員の方々との出会いは、私にとって大きな財産です。今現在は、育成会OBとしてお手伝いさせて頂いておりますが、旧役員OBの方々は、今もお付き合いさせて頂いており



改めてこの素晴らしい出会いに感謝、感謝です。皆さんも新たな出会いに参加しませんか？先ずは、隣組長さんに相談を...

編集後記

県立あいかわ公園内にある郷土資料館が開館して1年余が経過しました。

また、山々が色濃くなり、観光、レジャーにも最適な季節となりました。

さて、平成22年3月定例会では、長引く不況の影響を受け、税収が大幅に減収となり、厳しい予算編成となりましたが、今後とも町と議会が一体となって町民の皆さんが住みやすい町づくりに努めていきたいと思っています。

議会だより編集委員会
委員長 熊坂 弘久
副委員長 井出 一己
委員 渡辺 基
委員 馬場 司
委員 成瀬 和治
委員 小島総一郎
委員 熊坂 徹
委員 熊澤 俊治
委員 井上 博明

次回定例会

次回、6月定例会は下表のとおりです。本会議はいつでも午前9時から開会します。

また、本定例会の運営を協議する議会運営委員会は、5月21日(金)に開催予定です。

日程が変更になる場合もありますので、詳しくは議会事務局にお問い合わせください。町ホーム

平成22年第2回定例会日程(予定)

月	日	曜	会 議 名
6	1	火	本会議 (提出議案の説明)
	3	木	本会議 (一般質問)
	4	金	本会議 (一般質問)
	8	火	総務建設常任委員会
	9	水	教育民生常任委員会
	15	火	本会議 (総括質疑・討論・採決)
	16	水	(予備日)

ページでもご覧になれます。

職員人事異動

(新)議会事務局 局長 小宮 清志

(水道事業所長)

(旧) 3月31日付け 定年退職

細野 洋一

(新)議会事務局 主査 関根 祐子

(教育総務課主査)

(旧)住民課

八木 明子

(議会事務局副主幹)

会議録

議会だよりは、紙面の都合により、発言の一部を掲載しています。詳しくは、下記の町公共施設に備え付けてある「会議録」をご覧ください。

なお、3月定例会の会議録は、6月中には備え付けが予定予定です。また、町議会のホームページで平成11年以降の会議録がご覧になれます。

会議録設置施設

- 半原出張所
- 中津出張所
- 役場本庁窓口
- 福祉センター
- 文化会館図書館
- 農村環境改善センター
- 半原公民館
- 中津公民館

議会だよりは、録音ボランティアグループ「かえでの会」のご協力により、視覚障害者用に音声テープ化されています。ご希望の方は、社会福祉協議会にご連絡ください。(内線3792)